



蓬 椎野順子 函館 石橋志野
枝蛙 栗生

澤俳句鑑賞 195
仁平 勝……………22 鈴木尚子……………24

第十六回「澤」秋季鍛錬会のお知らせ……………4
澤通信句会のお知らせ……………6
第十四回同人句会のお知らせ……………8

小澤 實 入江 十五句……………12

高橋睦郎 季語練習帖 第八十回……………14

潺潺集 小澤 實選……………16

被災 小日向美春 遍路 埴 幸子

小皿 村嶋正浩

鯉 結城あき

死の順 小西保男 一對 長谷川照子

皺の中 上村雛子

赤と黄と 川上弘美

生キテルカ 宮田應孝

春惜しむ 櫛 博子

蕾 葛西省子

姉妹 野口桐花

新茶 押野 裕

滴つ 東徳門百合子

定例句会の秀句 村戸弥生……………34

通信句会の秀句 佐藤晃市……………36

俳句を豊かにするもの

後期高齢者の思わぬ変化 石見光夫……………38

句にならなかつた黒塚 佐藤晃市……………39

潺潺集巻頭作家インタビュー 高取恒子……………40

澤集巻頭作家インタビュー 佐藤昭子……………41

第十六回「澤」秋季鍛錬会吟行地案内……………42

同人代表句 原 拓也／ホッピー太郎……………44

同人一句鑑賞 高野美智子／鍋山紀子……………45

澤衍……………46

澤四十句 小澤 實選……………48

岩岡中正『相聞』／小沢麻結『乙姫の反古』
江渡華子『笑ふ』 冬魚……………26

詩文学芸書を読む

安野光雅『会いたかった画家』

村上佳乃……………28

総合誌俳句鑑賞

「俳句」六月号／「俳壇」六月号

「俳句あるふあ」六・七月号 野崎海芋……………30

俳句結社誌を読む

「滝」四月号 馬場尚美……………32

選後独言 社会と対す 小澤 實……………50

澤集 小澤 實選……………52

遠藤ちひろ／鈴木桃子／冬魚／中村敏彦／望月とし江／宮川それいけ／野崎海芋／磯貝一沙／大野善雄／池田慶子／青木弓子／成瀬淳子／大塚禎三

同人会の新体制について／第14回同人句会開催について／新入会員／7月号発送報告……………83

消息／正誤表……………84

雑誌「澤」購読のご案内／

「俳句を豊かにするもの」原稿募集のお知らせ／
第190回定例句会 8月ご案内……………85

第188回定例句会作品 小澤 實選……………86

第182回通信句会作品 小澤 實選……………88

購読料更新のお知らせ／澤基金募集のお願い……………90

投句のご案内／澤基金応募者芳名……………91

澤句会・カルチャー一覽……………92

広告……………93 後記……………98

表紙デザイン・山口信博＋撮影・鈴木静華

澤

平成28年8月1日発行

澤 俳句会

頒価 1,200円

縄文土製耳飾りである。時代は縄文後期ごろか。出土地は不明だが、関東から東北地方であろう。

割愛してくれた道具屋さんによれば、市場に出まわっている耳飾りのほとんどは贗物であるという。これが贗物でないことは、表面に押された穴が単調ではないことが証明しているとのことだ。たしかに深い穴、浅い穴、中間ほどの穴がある。軽快なリズムを感じるのだ。大きく欠けてはいるが、大事にしなければならない。裏側にも同様な穴が開けられていて、厚い。けっこう重みもある。女性だけがつけていたのではないようだが、これを嵌める耳たぶの肉はかなり厚く、しっかりしていなければならない。

小澤 實